



妙高高原中学校



所在地 妙高市大字関川 762 番地

電 話 86-2074 FAX 86-2482

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/kogen-c>

1 学校の概要

- (1) 創 立 昭和 23 年 4 月 1 日
- (2) 教職員 校長 小林 辰男 教頭 水野 頌之助
教諭 7 名 養護教諭 1 名 主事 1 名
講師 1 名 非常勤講師 2 名 ALT 1 名
用務員 1 名 特支教育支援員 1 名
教育補助員 1 名

(3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合 計
第 1 学年	1	8	13	21
第 2 学年	1	8	12	20
第 3 学年	1	12	11	23
特別支援	1	3	1	4
合 計	4	31	37	68

2 学校経営の基本構想

- (1) 豊かな心（徳）
生きる力の育成
- (2) 確かな学力（知）
妙高型イエナプランを生かした個別最適化の学びと
読解力育成
- (3) たくましい体（体）
気持ちや感情をコントロールし、自他と折り合いを
つけながら、心身ともに健康な生徒の育成

3 教育目標

『知性・敬愛・活力』

4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標
- ・他者を認め、進んで話し、協力しよう！
 - ・目標を持って主体的に学習しよう！
 - ・粘り強く体力づくりに取り組もう！
- (2) 努力事項
- ・学校行事や生徒会活動等において、「生徒主体」の活動を位置付けて、他者と協力しながら主体的に問題解決を図る意欲や態度を育成する。
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、プロセスを重視した学習を充実させる。
 - ・自分の体力や健康状態を知り、生徒が主体的に維持、増進を図る。

5 研究計画

- (1) 研究主題
- 妙高型イエナプラン教育による「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり

(2) 主題設定の理由

妙高市で取り組んでいる妙高型イエナプラン教育のエッセンスを授業づくりに取り入れることこそが、令和の日本型教育で重視されている「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現することにつながると考え、研究主題を設定した。

(3) 研究内容

- ① イエナプラン教育の進め方について研修を行い、単元の指導計画を作成する。互いの実践を振り返り、情報交換をすることで、授業改善の充実を図る。
- ② 年間を通じて、研究主題に沿った授業実践を一人 1 回以上公開する。その際、ICT 機器の使用、読解力育成の視点を取り入れた単元計画表を作成して授業実践を行う。

6 ESD 推進計画

- (1) 「総合的な学習の時間」年間指導計画の再編
R5 年度の実践を基に妙光祭(10 月)を計画の中核に据え、『いつまでも大好き妙高高原』をスローガンにプログラム化する。また、修学旅行(10 月)の内容を大幅に見直し、関西 SDGs プラットフォームに賛同する自治体や企業、大学での研修を設定する。
- (2) SDGs キャンペーンの実施
生徒会が企画、運営する全校生徒参加の各種キャンペーンを約一か月間行う。また、各専門委員会においても 17 のゴールを意識した日常活動を展開する。
- (3) CS と連携した生徒目線の地域の魅力発信
妙高高原の魅力をまとめた学習の成果を CS 運営の HP「Be Myoko!」に掲載。情報リテラシーを学びながら広く発信するスキルを身に付ける。

7 主な行事の予定

- 4 月：始業式、入学式、交通安全教室、生徒会入会式
- 5 月：避難訓練、体育祭
- 6 月：F 1 テスト、地区大会、進路説明会
- 7 月：職場体験学習、県総体、個別面談（三者）
- 8 月：始業式
- 9 月：F 2 テスト、教育相談、新人大会
- 10 月：修学旅行、妙光祭
- 11 月：F 3 テスト、絆づくり集会
- 12 月：生徒会役員選挙、個別面談（三者）
- 1 月：F 4 テスト（3 年）、県スキー大会、進路面談
- 2 月：全中スキー大会、F 4 テスト（1・2 年）
- 3 月：卒業式